

# 一般質問

## 森林資源を活用した街づくり

**問** 森林資源を活用した街づくりは国が進める地方創生の起爆剤として必要と思うがいかがか。

**答** 将来における秩父地域発展の一翼を担うのが森林・林業、木材産業の発展であり、その従事者の増加を図ること、若者が従事する魅力ある産業へと構築することが必要と考える。森林所有者等へ利益が還元され、かつ秩父産木材が安定的に供給されるよう、低コストで効率的な生産、確実な流通システムの構築を目指したい。

**問** 間伐の実施等健全な森林の整備、計画的な主伐および造林の実施を推進、姉妹都市や企業との森林(もり)づくり協定による森林整備の実施、森林・林業、木材産業を支える人材、事業者の育成など安心安全の観点からも森林の公益性が十分発揮されるような取組を行うことが将来における秩父地域の森林ビジョンであると考えます。

### ●市庁舎建設に伴う樹木の譲与

**問** 市報8月号に掲載された銀杏の木との譲与は、  
**答** 建設に伴い支障となる既存

市民の会・絆 浅海 忠  
あさみみ ただし



樹木については、市民会議や市民ワークショップ、また、広聴サポーターなど多くの市民の意見を伺い庁内会議を経て移植・伐採の選別をした。その際、今回の銀杏の木は伐採する計画で進めてきたが、一部の市民から伐採しないでほしいという声が上がリ環境団体関係者や造園業者等の意見を聞き、庁舎関係部局を交え移植先も検討したが多額の費用が掛かるため温存する方法の一つとして、譲与することとした。期限までに譲与先が決まらなければ、適切な場所への移植を検討したい。

移植が検討されている「銀杏の木」



活用が期待される森林組合木材センター

## 市民満足度調査の意義と目的は

**問** 今回で6年6回目となるこの調査の意義、目的は。

**答** 市が実施する各分野の施策について、市民がどの程度満足しているかと、何を重要と感じているかを把握し、事業の改善や力を入れるべき施策の精査を行うため。

**問** 今回の調査の自由記述欄には、市民参加に関する意見として「市民の声を聞いてもらえない感じがとてもある」「市民あつての行政を忘れないでください」等の声が寄せられている。これをどう受け止めているか。

**答** 心しなければいけないと考えている。

### ●雇用拡大のための通勤対策を

**問** 通勤利便性の向上による雇用拡大策として、朝6時台の特急電車の増発等の西武秩父線ダイヤの拡充や、皆野寄居有料道路の料金引き下げが求められている。西武秩父駅が温泉複合施設に大きく変わろうとし、皆野寄居有料道路と同じ国道140号上にある雁坂トンネルが無料になっている今こそ、要望活動の好機と考えるが。

かなさき まさゆき  
金崎 昌之



**答** この機会をとらえ、豊島区から高齢者の移住受け入れ時の通勤環境を整える上でも、改めて要望を続けていきたい。

### ●ユニバーサルデザイン要望対応は

**問** 昨年6月議会に請願として出された障がい者トイレの増設・改善、バリアフリー地図の活用、学童保育室等の障がい者施設の充実に、その後どう取り組んできたか。

**答** 要望それぞれについて、取り組みを進めてきている。



温泉複合施設へと大きく変わる西武秩父駅

# 一般質問

## 龍勢祭の国指定文化財への取り組み



清流クラブ 荒船 功  
あらぶね いさお

**問** 龍勢は別名「農民ロケット」と言われ、全国にも例を見ない奇祭で平成9年には埼玉県無形民俗文化財の指定を受けた。現在27の流派（製法伝承組織）があり、約700人が製法を伝承し、学校の郷土学習にも組み入れられている。観客は近年10万人を超える大きな祭りに発展してきている。こうした状況を踏まえ①龍勢祭り対策本部付近の観覧席前の電線地中化②国指定文化財指定への手順③市の取り組みと今後の見通し④打ち上げ櫓の老朽化への対応は。

**答** 電線の地中化は関係機関へ働きかける。国の文化財指定は、所有者や市町村からの申請や要望の手続きを経て行うものではなく、文化庁では全国的な視点で計画的に指定候補を選定し、文化財調査官による現地調査後、文部科学大臣から文化財審議会へ諮問、答申手続きを経て、文化財指定がされている。そのため、「椋神社の龍勢」が指定候補に選定されるために、文化庁の指導のもと国庫補助事業として外部有識者と地元関係者として椋神社龍勢調査委員会を組織し、調査を進めている。この調

査は、龍勢の歴史、伝承組織、製法並びに古文書等を調査する総合的なもので、25年度から3か年計画で実施し、本年度末に調査報告書を刊行し、終了する。この調査報告書を文化庁に提出し、早期に国の指定文化財になるように働きかけていきたい。打ち上げ櫓は、ここ数年木材の老朽化が進み、修理しながら使用している話を聞いていて、既に県に報告している。補助事業として早期に改修できるような働きかけるとともに龍勢保存会とも調整を図っていきたい。



ポテくまくん龍勢バージョン

## 少子化、人口減少への対応について



清流クラブ 富田 俊和  
とみた としかず

**問** 少子化対策として、国、県、市町村では、金銭的な補助や保育所の整備などを行ってきたが、その成果はあまりあがっていない。根本的な原因をしっかりと捉え、対策を講じる必要がある。ある調査によれば、結婚したい若者は70%以上いるとの結果があることから、あとは背中をポンと押す施策を進めることが必要であり、三つの施策を提案する。

①中学校の課程では、男女別クラスにする。  
②若者にデート休暇を与える。  
③結婚は良いものだということを先輩が教える。

**答** 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では「若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する」ために、若い世代が安心して就労し、希望通り結婚し、妊娠・出産・子育てができるような社会経済環境を実現するとしている。人口減少社会へ力強く対応するためには、既存の制度や法体系にとらわれず、全国一律の施策から地域独自の施策を展開し、果敢に地方創生に取り組みことが重要であると考えている。現在、「日本一、幸

せなまち」をキャッチフレーズに諸施策に取り組んでおり、夫婦、家庭の幸せを地域の幸せとつなげられるような施策を展開していきたい。

①現在の男女共学により、お互いの特性を理解させたい。  
②デート休暇という発想は、興味深いものがある。  
③先輩ばかりでなく、親や上司も含め素敵な結婚生活を送り、明るい家庭を築いている人からは人間的な魅力も感じられ、仕事や交友について学ぶことが大きい。

社会福祉協議会で行われている婚活イベント

# 一般質問

## 市民に向けた行政を

日本共産党秩父市議会議員団

やまなか すすむ 山中 進



### ●大規模太陽光発電事業

**問** いまだに工事も始まっておらず、周辺住民はもとより多くの市民がこのメガソーラー事業を注視している。誠意をもってこれに当たると言って、3年が過ぎようとしている。経緯と今後の予定は。放置してきた責任と市の対応は。

**答** 昨年8月26日に契約した。本日(9月9日)より土地の測量調査が始まった。遅れた事については、仕方がない。

### ●海外視察旅費

**問** 25年8月のフランス・イタリアへの海外視察の総額と交通費、宿泊代などの内訳は。

**答** 航空運賃他57万円、宿泊費5万4千円、レンタカー代31万9千円など総額122万1千9百円。そのうち27万9千6百円を公費として支出した。

### ●教育を取り巻く現状への対応と対策、課題、自治体の役割

**問** 奨学金が卒業後、市内事業所へ就職し一定期間居住した場合、奨学金の返済猶予策がとれないか。

**答** 趣旨としては理解できるが、市の財政状況から制度創設は非常に難しい。

### ●合併後10年の検証は

**問** 合併による広域化は、基礎自治体の周辺地域、特に中山間地の生活の利便性を向上させず、地域力を低下させた。この間の検証をすべきと考えるが。

**答** 市のマスタープラン「新まちづくり計画」は32年末まで延長された。第2次総合計画においてもこの理念・方向性は引き継がれる。



いまだ手つかずの、市大規模太陽光発電予定地

## 地方創生に向けた

## 農業振興

清流クラブ 黒澤 秀之



**問** 現状、秩父市の農地総面積における耕作放棄地並びに遊休農地の割合は、実に半数近く49・2%。農業(農地)にスポットをあてた地方創生を考えるべきではないか。

**答** 農業委員会における遊休農地、耕作放棄地の利活用についての考えは、農地を農地として利用することを最優先としている。毎年実施している農地利用調査を通じて実態は把握しており、今後は、遊休農地や遊休化しつつある農地の所有者に対し、解消や貸与等の意向を確認すると同時に、農地中間管理機構等を活用して農業振興を進めていく。また、新規に就農しやすい条件作りを通じた、移住受入れ等による地域活性化策(地方創生)も有効な手段と捉え、近隣自治体、先進自治体事例を参考に調査・研究をしていく。

### ●産業振興による地域雇用の維持、拡大

**問** 秩父商工会議所工業部会による政策要請への今後の対応は。

**答** 専門的な知識・資格を有する人材の配置による伴奏型支援を強化していくと共に、各支援制度の

### ●旧秩父セメント跡地活用構想

**問** 大型企業誘致を念頭においた敷地は、企業を始め民有地である。現状及び、今後の市としての対応と地域再生戦略交付金等の活用は。

**答** 今後も地権者とのコミュニケーションを密に行い、地域活性化に向け連携した対応を図っていく。



地域の資源で秩父創生

意見書

9月定例会の最終日に、議員提出議案の意見書4件が提出され、審査の結果、3件は原案のとおり可決、1件は否決されました。可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。内容については、次のとおりです。

ICT利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書

1 ICT環境の充実には、WiFi環境の整備が不可欠であることから、活用可能な補助金や交付金を拡充し、公衆無線LAN環境の整備促進を図ること。

2 平成27年度からスタートしたテレワーク関連の税制優遇措置の周知徹底を図るとともに、制度を一層充実させ、拠点整備や雇用促進につながる施策を行うこと。

3 テレワークを活用して新たなワークスタイルを実現した企業を顕彰するとともにセミナーの開催などテレワーク普及啓発策を推進すること。

地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書

1 地方財政措置における「まち・ひと・しごと創生事業費」と各

府省の地方創生関連事業・補助金、さらには新型交付金の役割分担を明確にするとともに必要な財源を確保すること。

2 平成27年度に創設された「まち・ひと・しごと創生事業費(1兆円)」については、地方創生に係る各自治体の取り組みのベースとなるものであるから、恒久財源を確保の上、5年間は継続すること。

3 平成28年度に創設される新型交付金については、平成26年度補正予算に盛り込まれた「地方創生先行型交付金」以上の額を確保するとともに、その活用については、例えば人件費やハード事業等にも活用できるなど、地方にとって使い勝手の良いものにする。

森林吸収源対策に係る安定財源確保及び山村振興対策の推進を求める意見書

1 地球温暖化防止対策に不可欠な森林吸収源対策の推進を図るため、「地球温暖化対策のための税」の使途に森林吸収源を追加する等、森林整備推進等のための安定財源を確保すること。

2 地域振興・山村振興に向けて、森林等の保全の推進並びに山村における産業基盤及び生活環境の整備の促進を図るとともに、定住を促進するため、地域の中小企業における受注機

会の増大、所得の向上に向けた支援、雇用の拡大・改善を行う企業に対する支援等必要な方を策を講じること。

ありがとうございました

9月定例会の盆栽  
9月定例会に盆栽を提供していただいた方は、新井進さん(下吉田井上町会)です。



新井進さん提供

市議会を傍聴してみませんか

12月定例会の予定 各日、午前10時開会予定

日程	議事
11月27日(金)	開会、議案説明
12月7日(月)	議案に対する質疑
8日(火)、9日(水)、10日(木)	一般質問
11日(金)	委員会
16日(水)	委員長報告、採決、閉会

※ 議場は、吉田総合支所の3階です。  
※ 日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合もありますので、傍聴の際は、議会事務局へお問い合わせください。

編集後記

大雨による茨城県常総市や宮城県平河町の堤防決壊被害で大きな被害となりました。被害に遭われた方々に対しお見舞い申し上げます。

初めて聞く「線状降水帯」による大雨、台風の大規模化、長雨、爆弾低気圧など異常気象と言われるものがしばらく続いており、日本中に大きな影響を及ぼしました。こうした異常気象の下、市の防災・危機管理と地域の防災意識に対する考えをさらに強める議会となりました。

平成27年10月 山中 進記

編集委員



- 委員長 木村 隆彦
- 副委員長 福井 貴代
- 委員 江田 治雄
- 委員 清野 和彦
- 委員 赤岩 秀文
- 委員 高山 宏